

野ばら 12月号



イエス・キリストの誕生

校長 夏見隆晴

2016年も12月を迎え、学園ではクリスマス行事の準備で、児童生徒も歌や劇などの練習に励んでおります。歌詞や台詞を声に出して、またそれを表現するための体の動きなどを繰り返し、繰り返し練習することによって、少しでもイエス・キリストの教えをより深く理解してくれればと願っております。

「クリスマス」とは、イエス・キリストのご誕生をお祝いする日ということです。日本でも12月の声を聞く前から、街ではクリスマスが準備されています。また、西暦で「世紀」を前後に分けているのも、イエス、キリストの誕生が基になっていることなど、現代に生きる私たちにも関係深いことと言えるのです。

ところが、イエス・キリストの誕生については、『聖書』はあまり多くを語ってはおりませんが、『ルカによる福音書』の記事を紐解いてみましょう。「天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの街に神から遣わされた。ダビデ家のヨゼフという人の許嫁であるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は言った。『おめでとう、恵まれた方、主があなたと共におられる。』マリアはこの言葉に戸惑い考え込んだ。すると天使は言った。『マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。』

救い主イエス・キリストの誕生は、民衆が久しく待ちのぞんでいたことでありました。しかし福音書の記述は、以上述べてきたとおり簡潔なものでありました。イエス・キリストの降誕がクリスマスとして12月25日に盛大に祝われるようになったのは、4世紀中ごろのことでした。今日、日本でも見られるクリスマスの飾りは、西ヨーロッパの流れを汲むもので、嬰兒と聖母を中心に、牛や驢馬が囲み、聖ヨセフや天使が脇役として登場する簡素なものでありましたが、中世末期には背後に風景図が加わり羊飼いたちも登場してきたのです。そして星のきらめく夜景が登場するのはネーデルランドに始まりました。

イエス・キリスト降誕のメッセージとは何かということ、年に一度考えてみることも有意義です。あるカトリック教会の祭壇に信望愛という文字が刻まれていました。信から始まって望がより大きく書かれ、最後の愛はそれをも上回って大きく書かれていたのです。そうです「最も大なるものは愛である」と言う聖書の言葉であったのです。誰の人生も「愛」を如何に生きたかを、最期は問われるのではないのでしょうか。ある人は、愛には忍耐が必要である、と言います。その通りかもしれません。でもわたし自身は、自分の非力を知りながらも、もっと積極的に隣人と関わって生きていきたいと考えています。



『続ける』ということ

体育科 知念 秀憲

皆さんは自分自身で何か続けている事はありますか？『続ける』ということは思ったよりも大変です。

なんでも、どんな事でもすぐに出来るという人はいないと思います。政治家や企業の社長、芸術家やスポーツ選手など、日々それぞれが必要なことを続けてきたからこそ、その人たちの現在があるのだと思います。そしてその人たちはきっと現在もそれぞれが必要なことをやり続けてます。

中高生にとって重要な『続ける』ことはもちろん学習です。最初は1時間机に座るのも苦痛だったのが、毎日『続ける』事で1時間勉強するのが当たり前になり、それが1時間半、2時間、3時間と集中して学習出来るようになっていきます。そして集中して勉強した分、学力が付いていきます。

人は『続ける』事でそれが当たり前の変態として出来るようになっていくと思います。「今べつにやらなくても私にとって必要な時が来ればやるし」とか、「俺はやれば出来るから」と思っている、いざという時に身に付いていなければなかなか難しい事もあります。

私は中学の部活から続けているスポーツがあります。入部当初は毎日練習をするというのが大変で、休みたいと思う時もありました。しかし、『続ける』事で部活に行くのが当たり前になり、そして毎日『続ける』事で技術も向上していきました。試合でも勝つことができ、同じように部活に励んだ仲間との絆も深まるなど、部活を通して色々な事を学ぶことが出来ました。

将来自分はどうしたいのか、どうなりたいか。きっと何かを努力し続けないと叶わないものだと思います。途中であきらめたり、中途半端にやっつけては成長しません。「あきらめたら、そこで試合終了ですよ」私の好きな言葉です。自分に必要な何かを『続ける』ことで自分が成長できるとしたら、自分の目標が達成できるとしたら、私は「続ける事って大事だよ」と言い続けたいと思います。



日・曜日	行事計画
12月3日(土)	家庭学習日・内部進学・推薦入試
5日(月)	高3最終授業
6日(火)	卒業認定試験(～9日(金))
7日(水)	第4回定期試験(中学生：8日まで 高校生：9日まで)
10日(土)	授業
12日(月)	答案返却日・総合
14日(水)	研究授業 社会(1B)・職員会議
16日(金)	卒業再認試験 卒業認定判定会議
17日(土)	授業 高2修学旅行説明会
21日(水)	クリスマスミサ 聖誕劇
22日(木)	生徒集会・大清掃(冬期休業～1/9(月))
23日(金)	天皇誕生日
24日(土)	冬期講座(～28日(水))4日間

※2017年1月10日(火)生徒集会 08:05 講堂

生徒の活躍

第6回沖縄県新聞スクラップコンテスト

新聞感想文部門 県知事賞 中1B 吉川 宗志さん
ノート部門 県PTA連合会会長賞 中2B 辺土 百々花さん
切り抜き新聞部門 優秀賞 中1B 喜友名 朝可さん



第68回県民体育大会 体操競技大会

個人2位

(ゆか 2位、あん馬 2位、つり輪 2位、跳馬 6位、平行棒 2位、鉄棒 2位)
中3A 中田 海斗さん

おめでとう!



ご協力ありがとうございました

去る11月23日(水) 勤労感謝の日に開催致しました第10回文化祭におきましては、駐車場の整理・誘導、パン・飲み物・リサイクル品の販売に68世帯70名の保護者の方々にご尽力を賜りました。また、バザーや募金へもご理解とご支援をいただき、無事成功裏に終えることが出来ました。紙面をお借りいたしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。